

令和2年4月6日

医学科の学生のみなさんへ

医学科教務委員長

竹中 克斗

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、令和2年度前学期の授業が延期となり、不安に感じている方も多いと思います。

まず、私たちが気をつけることは、自分が感染しないこと、自分が感染源にならないことです。

大学としては、大学で感染クラスターを発生させないことが最優先されます。特に、重信地区は、敷地内に病院があります。ここで、感染クラスターが生じた場合、多くの命が失われる可能性があります。職員も含めて、みなさんがその発端になってしまう可能性があります。そこをしっかりと自覚して行動して下さい。

多くの質問を頂いていますが、現在決まっているのは、4月21日までの対応です。日々状況が変わります。4月6日朝の時点までで、大学として通知されている事項からお返事をします。今後の愛媛県内の新型コロナウイルス感染の状況によって、休講期間が延長されたり、方針が大きく変わる可能性がありますので、随時配信されるメールやホームページを頻回に確認して下さい。

1. 休講期間について

3月下旬時点では、愛媛県内の新型コロナウイルス感染者は少数でした。しかし、4月になり、たくさんの方の移動がありました。感染地域に居住していた人が、そのまま愛媛大学に来て、働いたり、授業に参加すると、大学内で感染クラスターを生じるリスクが高まります。従って、現在のウイルスの潜伏期間が2週間であることから、四国外から転入した職員は2週間自宅待機、学生の授業も開始が2週間延期されました。

つまり、みなさんには、愛媛県内に戻って、この2週間は県内にいて下さい、感染流行地域（愛媛大学は四国以外としています）から戻ってきた学生は、2週間自宅待機をして下さい、ということです。

この場合の自宅待機は不要不急の外出を避けることであり、日常に必要な行動を制限するものではありません。従って、現時点では、授業あるいは実習開始までに愛媛県内に2

週間の滞在を求める、ということです。この期間に県外に出てしまうと、この2週間の意味がなくなります。学務課で、一人一人の行動追跡や、その確認は取れません。

繰り返しますが、私たちが感染源（無症状者を含む）になった場合、多くの命を危険にさらす危険があるということを、よく自覚し行動下さい。さらには、休講期間の延長がされれば、皆さんの学習機会がどんどん失われていくことになります。

2. 6年生の臨床実習について

現時点では、4月20日月曜日に実習開始予定です。

実習開始2週間前から県内にとどまることを要請していますが、4月8日に戻る予定にしていた学生も多いと思います。4月8日に戻った場合、4月20日、21日が出席できませんが、これについては、各診療科に、欠席扱いとしないよう依頼をしています。しかし、それ以降の場合は、現状、欠席扱いとなります。

3. 今後について

新型コロナウイルス感染の終息時期は現時点では見通せません。皆さんの学習機会は、長期にわたって制限される可能性が高いと思われます。

いったん授業が再開されても、感染が拡大したり、緊急事態宣言が発令された場合、再度延期・中止があり得ます。

病院見学などの問い合わせもありますが、5月以降のことは、受け入れ病院も決定できていない状況と思います。

現時点の大学の判断は、講義・実習に参加する前2週間は愛媛県にとどまること、です。

自己都合での自宅待機期間は欠席扱いとなります。

行動制限をされることは非常にストレスを感じるとは思いますが、自分自身が感染源となるリスクがある、ということを常に自覚して行動して下さい。